



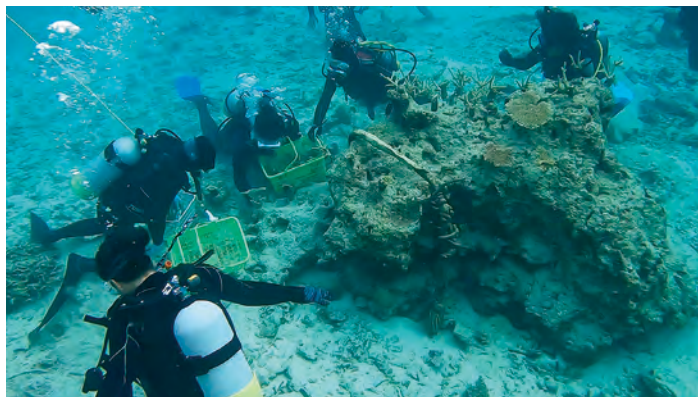
14 海の豊かさを
守ろう



恩納村Save The Coralプロジェクト



3月5日(サンゴの日)を
恩納村の自然を考える日にしよう



現在、海洋ごみは全世界で1億5,000万トンあると言われ、2050年には世界中の魚の量を上回ると言われています。

(参考:wwpジャパンサイト「海岸プラスチック問題について」)

3月5日(サンゴの日)に恩納村にて、Save The Coralプロジェクトが開催されました。

これは、恩納村が「サンゴの村宣言」世界一サンゴと人にやさしい村づくりを目指す取り組みの一つで、豊かな恩納村の自然を持続的に守ろうと、サンゴ苗の植え付けやビーチクリーン、山での植樹を行うイベントです。

毎年、3月5日(サンゴの日)にちなみ、この日に開催をしています。2018年からスタートし、コロナ禍での中止もあり正確に言うと4回目の実施となりました。

当日は、強風と雨の予報にも関わらず、村内のホテルやその他企業、一般参加で総勢約280名の人が集まりました。

令和5年度Save The Coralプロジェクト

【出発式参加者:250名】

【保全活動参加人数:280名】

・ビーチクリーン:210名

・グリーンクリーン:40名

植樹本数: イッペイ(40本)
桜(40本)

・サンゴ苗植え付け:40名

サンゴ植付本数:350本

・ごみ総量:6.3トン



ビーチクリーン(海) & グリーンクリーン(山)

ビーチクリーンを久良波海岸で行い、清掃終了後には6.3トンのごみが回収されました。

グリーンクリーンでは、イッペイの木と桜の木を計80本植樹しました。

サンゴ苗の植え付けでは、漁協やマリンレジャー関係者の協力のもと、350本のサンゴ苗を植え付けしました。

一時、海水温上昇などにより、恩納村も大幅にサンゴが減少していましたが、現在は微増ですが回復に向かっていきます。(参考:令和5年度恩納村リーフチェック報告書)

一人では活動できないことも、年に一度、このようなイベントに参加するののも一つの手ではないでしょうか。

ぜひ来年の3月5日(サンゴの日)のイベントに参加してみてください。

お問い合わせ:企画課 ☎966-1201